

2インチアップサス装着



ノーマル状態

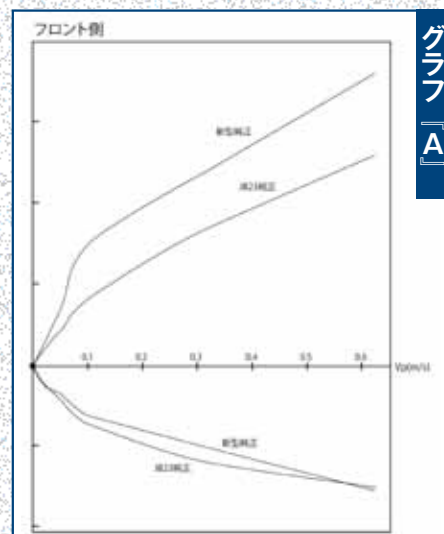


JB64用
ノーマルコイルスプリング

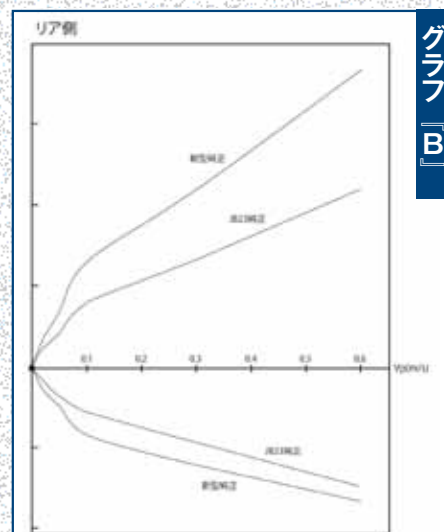
で、JB64の方が2〜3%重くなっています。
ショックアブソーバーに関してはグラフ「A」と「B」(自社で比較計測)でわかるように減衰はJB64の方がかなり高めに設定されています。なお弊社商品開発の資料ですので、詳しい数字はお見せ出来ません。
そして取り付け部分(目玉)もJB23よりも大きくなっています。センターカラーの肉厚を大きくする事により1点のR径が大きくなるため振動を吸収する面積が増えるようになっています。これはいいですね。この部分は体感でさがるくらい変わるパーツなので、コイルスプリングは座巻径も数ミリ大きくなっていて、コイル中心径も自

由長も定数も変更されています。これほど変更点が多くあるのですから「JB23の足回りをJB64に取り付けてもきちんとした動きはしない」というのが私の考えです。まあ私だけではなくサスペンションを真面目に開発しているところであれば誰もが同じ事を言うと思いますか？
ところでスプリングを「ばね」とよく言いますが何故「ばね」と言うのでしょうか？「ばね」から来た日本語らしいです。この辺は知らない情報ですね。
kproはJB64専用のスプリング&ショックアブソーバーの開発に着手しております。ジムニーの場合、ショックの取り付けスペースが狭いため、ショックアブソーバーの容量を大き

く変える事は難しく限界があります。次号ではサスペンション作られていく過程と自分に合ったサスペンション選びを紹介致します。



上の曲線が伸び側、下が縮み側の減衰力です。0.1〜0.6の数字はスピードで、数値が大きいほど速くなります。



JB23と比較すると、リアの縮み側だけ新型の方が低い減衰力となっています。これはバネレートとの関連です。

JB23用

JB64用



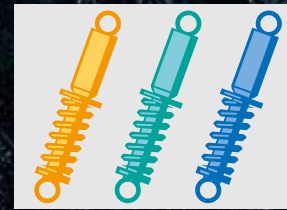
ダンパーの太さほとんど同じだけど、減衰力はかなり異なります。また見た目の通りアイ部分はJB64の方がひと回り以上大きくなっています。

そこでフロント側だけブラックスベシャル3インチUPを入れてみることに。結果はフロント右側7.7センチUP、フロント左側6.3センチUP、さらにリア右側6.7センチUP、リア左側6.2センチUPという結果。2インチUPサスを4本入れるよりはバランスは少ないですが、2インチ以上にUPしてしまいました。
JB23とJB64を比較すると車両重量・各軸重・ショックアブソーバー減衰及び全長・サス定数及び全長は全く異なり、取り付けは出来てもバランスの良い動きはしません。総重量はカタログ上JB23よりJB64の方が40kg重くなっているようです。自社計測による(ここで詳しい重量配分はお伝え出来ません)各軸重は前後左右バラバラ

奥深い世界の裏側を紹介

K-PROの
JB64用サス

開発物語



新型ジムニーを注文した方は多いことだろう。まだ納車されていなくてもカスタム&チューニングは気になるはず。ところでサスペンションはどうやって開発されるのだろうか？それを連載で追ってみることに！

走行性能は素晴らしい！

待ちに待った新型ジムニーJB64が7月5日に正式発表されましたね！発売と同時にSNSやインターネット動画、雑誌等で様々な情報やインプレが書かれているので、ご覧になった方も多いことでしょう。kproでも発表当日に1台入庫したのでボディを取り外して、カタログや目で見てわからない部分の変更点などを調べました。見れば見るほど、調べれば調べるほど変更点が多く、スズキのジムニーに対する気合の入れようを感じ取れました！
一般道から高速道路、林道、オフロードコースなど少しでも多くの情報を体で感じ取るべく2000km以上乗り込みました。JB23から20年振りのフルモデルチェンジなので、どの部分が変わったのが、非常に気になる部分ではあります。実際に2000km乗った私の感想をひと言で述べると「素晴らしい」。その走りを上回るサスペンションを開発すべく、これからじっくりと研究していきます！
JB64ですが、フルモデルチェンジ

とはいえフレーム構造、足回りなどはJB23と同じように見えます。JB23と比べると補強などが入り剛性は上がっていますが、サス&ショックは流用できそう！そこで弊社のブラックスベシャル2インチUPで試したら装着できました！私のFacebookでも触れましたが、JB23用サス&ショックは取り付け出来ず。ただし、ここで言う取り付けとは「サスペンションの追従性などは無視して車体に取付く」という意味です。この部分は大事です。でお間違えなく！



K-PRODUCTS 今社長

社長業が多忙になり「あまりジムニーで遊べない」のがここ数年の大きな悩み。それでも暇さえあれば林道や自社管理のオフロードコースでジムニーを乗り回している。自他共に認めるジムニー大好き人間。

当然ながら全くの別物

JB23用ブラックスベシャル2インチUP用をJB64に取り付けた場合、4輪全てが2インチ上がりませんでした。フロント右側は3.3センチUP、フロント左側2.4センチUP、リア右側5.3センチUP、リア左側4.6センチUPと4輪バラバラのリフトアップ量となり、フロント下がり状態になりました。